

令和4年 第13回総務経済常任委員会会議録

令和4年7月27日 議員控室

○事 件

協議事項

(1) 松前産トラウトサーモンの陸上養殖施設の現地視察について

○出席委員（6名）

委員長 安 藤 辰 行 君

大久保 建 一 君

関 口 正 博 君

宮 本 雅 晴 君

倉 地 清 子 君

三 澤 公 雄 君

○欠席委員（2名）

副委員長 牧 野 仁 君

横 田 喜世志 君

○出席委員外議員（1名）

議長 千 葉 隆 君

○出席説明員（0名）

○出席事務局職員

事務局長 三 澤 聡 君

事務局次長 成 田 真 介 君

[開会 午前11時20分]

◎ 開会・委員長挨拶

- 委員長（安藤辰行君） それではこれより総務経済常任委員会を開催します。
委員長挨拶は割愛させていただきます。

◎ 協議事項

- 委員長（安藤辰行君） 早速、事件に入りたいと思います。

協議事項ですが、松前産トラウトサーモンの陸上養殖施設の現地視察ということですが、松前で陸上養殖やってるんです。見たわけではないですが、川合建設さんがやってるんですけども、そこに稚魚を送っているのが要するに大関の北海産業で、そこから魚が行ってるんですけども、それで実際に販売の伝票を見せてもらったんですけども、豊洲なんかにか売買していて、キロ1,800円で、八雲から見たら千円高いんですけども、何でこんなに違うんだということも思いまして、聞いたらいろいろ自分で値段付けるわけじゃなくて、買うほうで値段を決めるから何とも言えないけれども、要するに魚を食べてみてという話は聞いたんですけども、陸上養殖とちょっと違うかもしれないけれども、同じサーモンだから、魚見てもわからないかもしれないけれども、ちょっと見てみたいなって。

たまたま10日に松前に行くから道南林活で松前町に伺いますので、その時についてでもしあれなら見せてもらえないですかと言ったら、見るなら見てもいいよっていう許可をもらったから、皆さんに今日こうしてお聞きしてるんですけども。その辺は皆さんがいいよと言ったら、あとから時間的に連絡しなければならないんですけども。

- 委員（関口正博君） 完全に陸上なんですか。

○委員長（安藤辰行君） 陸上です。それでこれから、ある施設の中に陸上の要するに施設の中に丸の生簀作ってるんです。そこに何匹いるかわからにけれども。

- 委員（関口正博君） そんなに多くないんじゃない。

○委員長（安藤辰行君） 多くないけれどもそこそこいる。市場に出せるだけ。それで今、松前町の小学校の跡地かな。小学校の跡地が要するに松前町でバックアップしてるから、この施設を借りて陸上養殖なんです。本格的にもっと増やしてやるらしいんですけども。

- 委員（関口正博君） それこそ稚魚から。

○委員長（安藤辰行君） うん。大関でふ化してるから、稚魚を7～8百くらいになったら、持って行ってその生簀に。馴致もしないでそのまま入れてるって。それでも死なないって。そこそこでやり方違うから何とも言えないけれども。

- 委員（大久保健一君） 真水でやってるってこと。

○委員長（安藤辰行君） 海水で。要するに大関が真水だから、だからそっちでどういうふうにして、やっぱり八雲産からしたら、食ったわけじゃないけれども、身が締まってるらしい。

○委員（関口正博君） 水なのかね。陸上でやってるってことは、ろ過もして循環式で。そういう装置を付けないとなんないだろうから。

- 委員長（安藤辰行君） 食わせてもらえたら一番いいかもしれないけれども。

- 委員(大久保建一君) これ12時から13時30分までの間に食ったらいいんじゃないの。食わせてもらえる施設というか食堂があるなら。
- 委員長(安藤辰行君) こっちのやつは、熊石のは食べたんですか。
- 委員(大久保建一君) 二海サーモンはどっかで食べたよ。
- 委員長(安藤辰行君) いやいや熊石産の。要するに八雲でやったやつを食べたことある。
- 委員(倉地清子君) あります、私。
- 委員(大久保建一君) 八雲の二海サーモンでしょ。あるある。
- 委員長(安藤辰行君) だから要するに食べてないから、食べても比べようがない。
- 委員(倉地清子君) 青森も食べました。
- 委員(大久保建一君) 青森も食べたよね。
- 委員長(安藤辰行君) 青森のほうは八雲と比べたらどうですか。
- 委員(倉地清子君) 八雲のほうは脂乗ってました。
- 委員(大久保建一君) でもいい方としたらあっさりといえばあっさり。食いやすい。今別のほうがあっさりとしたイメージ。
- 委員(倉地清子君) 八雲のは炙ったほうがおいしい。
- 委員長(安藤辰行君) 俺も熊石の食べたけれども脂っぽくて刺身はあまり食えない。
- 委員(大久保建一君) 若い人向け。だけどサーモンでそんなに値段違うの。
- 委員長(安藤辰行君) 違う。出してる場所も違うのかもしれないけれども。でも最初30匹くらい送ってくれて、後ろにちゃんと東京のほうの水産会社が付いてるんだけど、それで30kgくらい出したらしいけれども、売れるのに2週間くらいかかるって。2回目も40だか50送ってくれて、送ったら送った瞬間に完売。要するに1回目で食べた人達はすぐに買うらしいけれども。
- 委員(関口正博君) 今の情勢自体がここ1年サーモンなくなってるから、北海道は北海道でのみ流通だけれども豊洲は全国流通だから値段は付くかもしれない。この一時は。だから一概に二海サーモンが1,350円で松前が1,800円というのは一概に比べられない。今、引き合いがすごいんでしょ。サーモン。ましてや松前も北海道産で。
- 委員長(安藤辰行君) でも結構あちこちから来てるから。でもやっぱり要するにその松前産のサーモンが完売だって。
- 委員(大久保建一君) 八雲がやるかやらないかは別として、知識として見に行くのはいいんじゃないの。
- 委員(関口正博君) 知らなかった松前の。川合建設。函館の。
- 委員長(安藤辰行君) 川合建設さんも北海さんの系列の会社。
- 委員(関口正博君) それで大関から持ってってるの。へえ。
- 委員(大久保建一君) 輸送費かかる。
- 委員長(安藤辰行君) トラックに積んで。そしたら見る方向で。食べることはできないかもしれないけれども、とりあえず聞いてみる。
- 委員(大久保建一君) 松前にそういう食堂はないの。食べれるような。寿司屋とか。
- 委員(関口正博君) 矢野旅館。
- 委員長(安藤辰行君) とりあえず見せてもらおうということで。

○議会事務局次長（成田真介君） 林活研修に併せて実施ということで、おそらく委員と委員外議員も参加ということになります。一応、林活のスケジュールに併せてということで11時から12時まで視察に充てるということで考えていきたいと思います。

それとですね、新型コロナウイルス感染拡大によって、林活自体が中止になるかもしれないというのがありまして、今、林活のほうの事務局のほうで協議するらしいんですけども、もしコロナで林活自体が中止になった場合は現地視察のほうも併せて中止ということで、実施するとなったら併せて実施するというので。

○委員長（安藤辰行君） 時間は11時から。

○議会事務局次長（成田真介君） はい。

○委員（大久保建一君） そしたら八雲の二海サーモンも豊洲市場に出せばいいんじゃないの。

○委員（関口正博君） 今、量がそんなになくて、先に話持ってったのが札幌の市場なんでしょ。だから丸水だとかイオンで。

○委員（大久保建一君） だけどこっちも量なんてそんなにあるわけない。だって陸上養殖が海面養殖より多いなんてありえないでしょ。

○委員（関口正博君） そんな量ではないはずなんだけれども。需要が高まっているのは間違えないから、きっと松前さんに関わらず北海道の、よそのサーモンもそうだけど、値段は高くなってる。

○委員（倉地清子君） 実績って長いんですか。

○委員長（安藤辰行君） そうでもない。そこの魚作ってる人は長いけれども、おか養殖はそんなに経ってない。それこそ熊石と大して変わらない。それこそ1、2年。

○委員（倉地清子君） そんなに量はなさそう。

○委員（関口正博君） サーモンファクトリーの鈴木社長が捕まってね。どういう影響があるのか。

○委員（三澤公雄君） 不法投棄。全然その施設に浄化するのがないんですって。

○委員（三澤公雄君） それが言われちゃったら、どこも駄目。

○委員（大久保建一君） だけど俺と倉地さん台に乗っかって捌く台見たよね、あれじゃないの。あれそのまま海に流れたんじゃないの。

○委員（関口正博君） ほぼだから海とかに流して、海水当然入れながらさばいて流すんだけど。それを海に流すのは別に何も不思議にも思っただけで、あれが駄目なら、ほかのところ全部駄目。浄化施設持ってたなら別だけれども、あれは結構戦々恐々な出来事だと思う。加工業界や漁師の業界にとっては。だから八雲、熊石も同じことしてるだろうし。ただ今別のサーモンは量が莫大だから。

あれが地元漁業者なのか。それとも元々面白く思っていない人間がやったのかどうか知らないけど。あれは業界全体、結構大変なことだなと思って。鈴木さんは悪いことしようとしてあれしてるわけじゃなくて、それが当たり前だからそうやってやってただけだと思う。

でもニュースになったらあんな感じだから。

○委員（大久保建一君） でも捕まったということは法的根拠があるんでしょ。

○委員（関口正博君） あるある産業廃棄物の部分で。

○委員長（安藤辰行君） 不法投棄にあたるから。

- 委員（三澤公雄君） そしたら監督官庁は見て見ぬふりしてたの。
- 委員（関口正博君） ただけどそういう声があったら。
- 委員（大久保健一君） それ捕まえちゃったら。
- 委員（関口正博君） サーモンファクトリーはあの人がなくなったら。
- 委員（大久保健一君） そういうことじゃなくて、あぁいうケースで捕まえたら捕まる水産会社はまだだ。
- 委員（関口正博君） あるある。血って色消せないさ。薄めるしかない。それで固めて焼却処分したら、とんでもないコストがかかる。日ハムあたりも薬入れてあぁいうところは固めて焼却。一般の小さい加工屋とか長谷川あたりの規模の加工屋はそんなことできない。
- 委員長（安藤辰行君） 血と一緒に内蔵も。
- 委員（関口正博君） 内臓は別なんだけれども。結構大変なことだなって。
- 委員（大久保健一君） でも長谷川あたりはどうしてるの。薄めてるの。
- 委員（関口正博君） 薄めてる。でも今は浄化施設とかもあるから、そういうのでやってりしてる。だから熊石の血抜きも。
- 委員（三澤公雄君） 水槽の中で真っ赤になって。あまり真っ赤になったら今度血がよく出ないから、血を良く出させるために更に海水突っ込んで薄める。
- 委員（大久保健一君） そしたら全国のサーモン養殖施設、全部駄目じゃない。
- 委員（関口正博君） 加工してすぐ近くに、サーモンファクトリーは市内に持っていかないと、加工施設ないから、ただその場で締めるのは間違いないから。マグロだって船の上で全部さばいて、海に全部そのまま投げるでしょ。あれすら駄目だってことになったら全てが駄目になるでしょ。
- 議長（千葉 隆君） 漁師がやるのはいいけれども、加工場は駄目だって理屈じゃないの。
- 委員（関口正博君） 要はいろんな絡みがあつてのことだと思うんだよな。それで厳密に言ったら駄目なのはよくわかるんだけども。
- 議長（千葉 隆君） でも視察に行ったときには漁師や漁協の人には理解得てますって言ってたよね。
- 委員（関口正博君） 理解得てるって言ってたけれども、結局そうでもない。だから町としてこの事業を進めていくときにさ、当然その町なんて間違えなくできないからその部分も加味して事業を進めていかなければとんでもない投資。その部分に関わるだけで。浄化槽も1億円もかかる。だから焼却処分となるととんでもない経費がかかるし、ある程度量がなるとないし、量が出たら出ただけ焼却処分にかかるし。
- 委員（大久保健一君） でもこういうのって担当課って考えてるのかな。
- 委員（関口正博君） わからない。だから量が少ないからなのか、解釈の仕方がちょっと法律に関わってくることだから。
- 委員（大久保健一君） 当然調べてると思うけど。
- 議長（千葉 隆君） でもあれ沿岸までいってるからでしょ。ネットの写真見たら。港内じゃなくて外海の波打ち際に赤く染まってるからじゃないの。八雲の東野も真っ赤だと思ってたら、ちょっと行ったら黒いからどこまでがあれだかわからない。
- 委員（関口正博君） そもそも魚の血だからね、何にもないと思うけれども。

○議会事務局次長（成田真介君） 出欠についてなんですが、既に林活のほうで出欠の連絡をしていただいている方もいると思いますが、改めて本日が出欠の締切りとなっていますので、欠席で今回また出席したいという方がいましたら、林活と視察の出欠について本日中に事務局に連絡いただけたらと思います。

それから次回の常任委員会ですが、8月9日に第6回臨時会がありますので、臨時会のあとに開催したいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（安藤辰行君） 農林課は？

○委員（三澤公雄君） 農林課も今すぐは。ちょっと農林課に聞いてみます。

（何か言う声あり）

○議会事務局次長（成田真介君） 一応まずは今日こういう話がありましたということで伝えたいと思います。

○委員長（安藤辰行君） ほかにないですか。なければ以上で終わりたいと思います。

〔閉会 午前11時41分〕